

# 「学校評価」保護者アンケート集計結果

◇回答数108世帯（回答率95.6%）（長子世帯数113世帯）

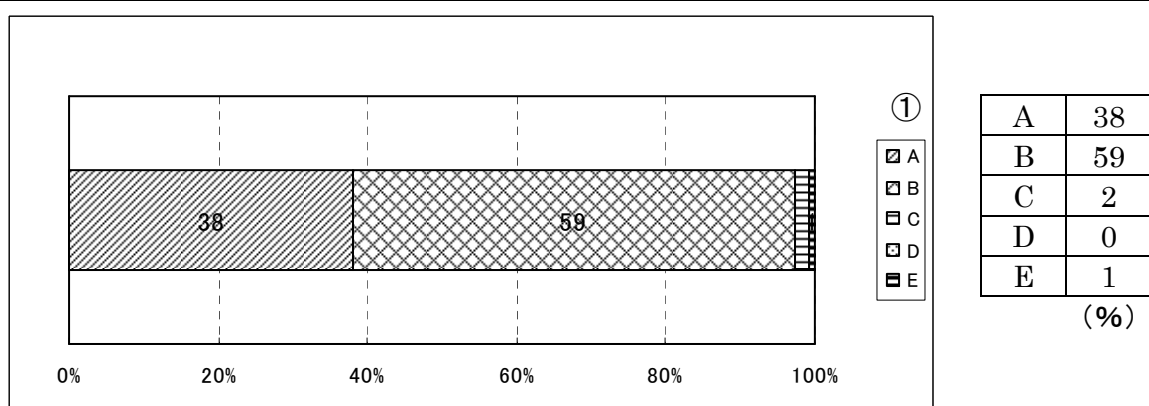
◇回答者内訳【父：11%、母：80%、祖父母3%、記入漏れ6%】

◇回答内容

A：たいへんそう思う    B：だいたいそう思う    C：どちらかというところではない  
D：まったくそうではない    E：分からない

## I 【学校運営】について

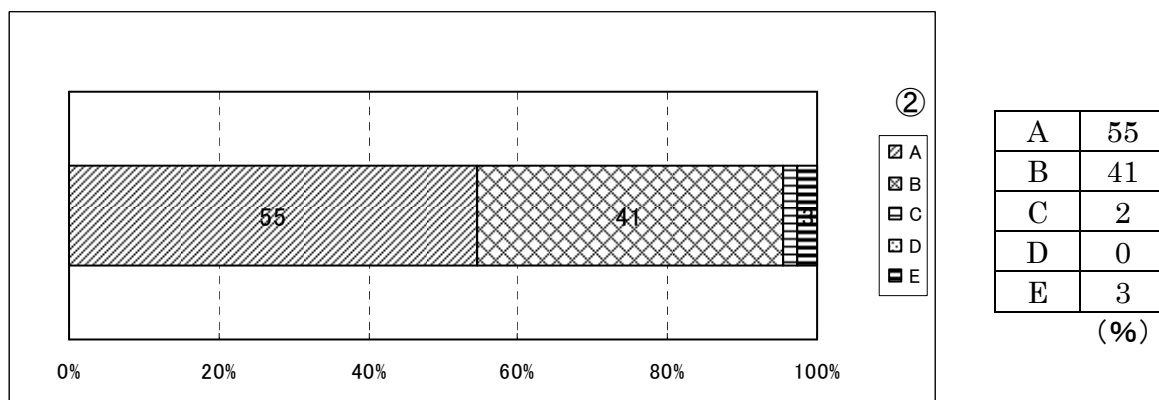
### 1 学校は、教育目標や南小っ子の合言葉、教育の重点等を知らせる努力をしている。



学校便りの見出しの部分に「教育目標」と「南小っ子の合言葉」を毎回掲載しています。教育の重点等については、ホームページや便り等でお知らせをしているところです。こういった学校の取り組みを97%の保護者の皆様が、知らせようと「努力をしていると『思う』」と感じていただいていることに感謝します。

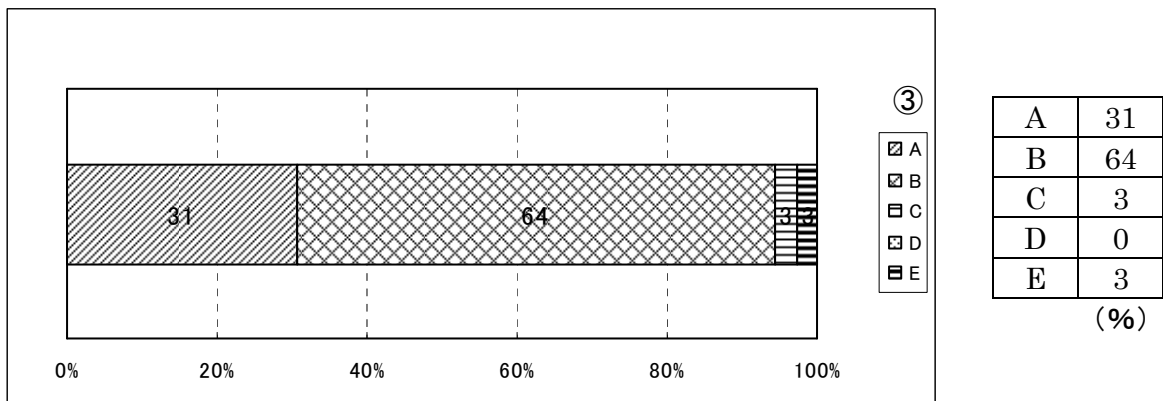
今後も、教育目標や重点の達成に向けて、どのような取組を進めているか、「ホームページ」や「通信」、「授業公開」等を通じて積極的にお知らせしていこうと思います。

### 2 学校は、小中連携を積極的に推進し、その様子を学校便り、ホームページ等で分かりやすく知らせている。



南波多小・南波多中学校では「小中連携教育」を推進して6年が経過し、行事の交流だけでなく、授業での連携（乗り入れ授業）、生徒指導での連携も定着してきました。特に、今年度はそれらの取り組みを、保護者の方々ばかりではなく、地域の方々にも公開するため授業公開等も実施しました。今後も「通信」や「連携便り」、「ホームページ」等でもお知らせしていこうと考えています。

### 3 学校は、児童の安全や健康に関して、必要な指導や対策に努力している。



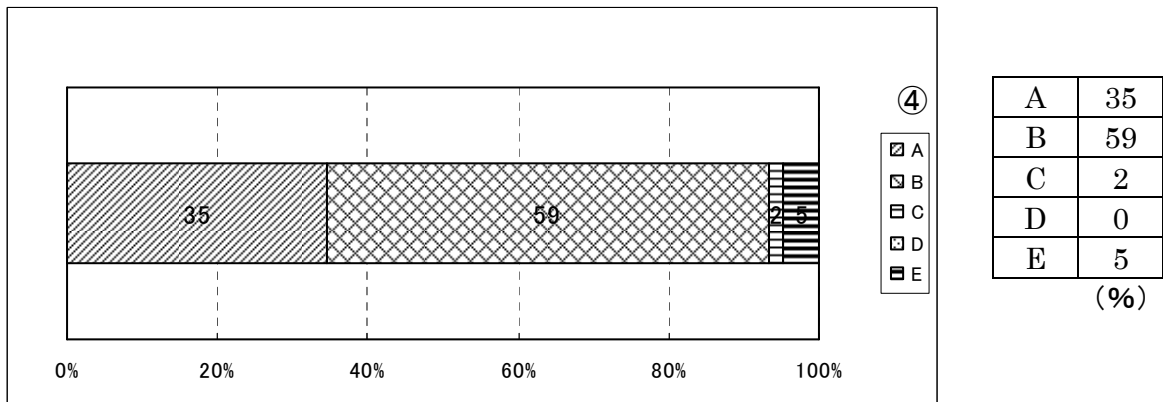
登下校時の安全指導は、南波多子ども守り隊の方々、駐在所、保護者の方々の支援をいただいております。校内の安全指導や毎月の施設設備の安全点検も職員で実施しています。また、緊急時に備え、避難訓練（火災・対震・不審者対応・原子力事故）も実施し、危機管理に力を入れています。

保健面については、養護教諭を中心に、手洗い・うがいの励行、教室照明の検査、児童の机やいすの高さ調整、健康観察と指導、歯みがき指導、食育指導などに取り組んでいます。

新型インフルエンザ等の予防にも取り組んでいます。児童の安全や健康に関しては、ご家庭にも、情報を発信し、ご協力をお願いすることも多いかと思えます。

## II 【教育活動】について

### 4 学校は、児童の学習意欲を高めるための手立てや確かな学力を身に付けさせるための研修や指導方法の工夫・改善に取り組んでいる。

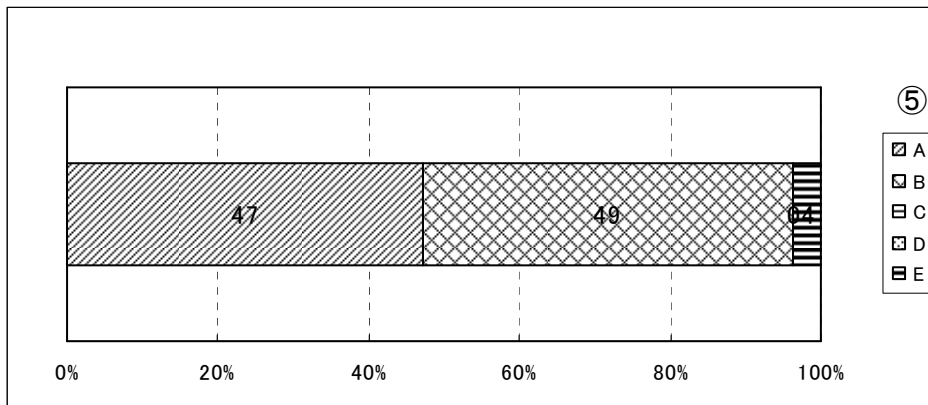


学校では、児童の学習意欲や理解を深めようと、朝の時間の「スピーチタイム」（表現力の向上）・「ホップ・ステップ・ジャンプ」（基礎学力の定着）、教科指導、放課後や長期休業中の個別指導等に取り組んでいます。特に今年度は、問題解決型の学習を通して学習したことを活用できる力や、小集団や一斉での話し合いを積極的に仕組み、自分の考えや思いを積極的に表現する力の育成を目指してきました。

全国学力学習状況調査や佐賀県学習状況調査や過去の CRT 検査等の結果を見ると、どの学年においても国語・算数の基本的事項に関しては、高い数値を収めることができています。しかし、その基礎的な力を活用して考える力、判断する力・表現する力については、まだまだ努力が必要なが分かりました。

3学期は、児童の学習意欲を高める課題の内容や与え方、学習の進め方等の指導方法の改善をはじめ、言語活動や問題解決型の授業を今以上に仕組むことで、子どもたちの考える力を伸ばしていこうと話したところです。また、家庭での学習習慣の定着のために家庭学習の仕方についても工夫する余地があります。具体的な方法や工夫については今後の TT だよりや学級通信等でお知らせしたいと思います。

**5 学校は、「スピーチタイム」や授業の中で、児童のコミュニケーション能力（話す力・聞く力）の向上をめざした指導の工夫をしている。**

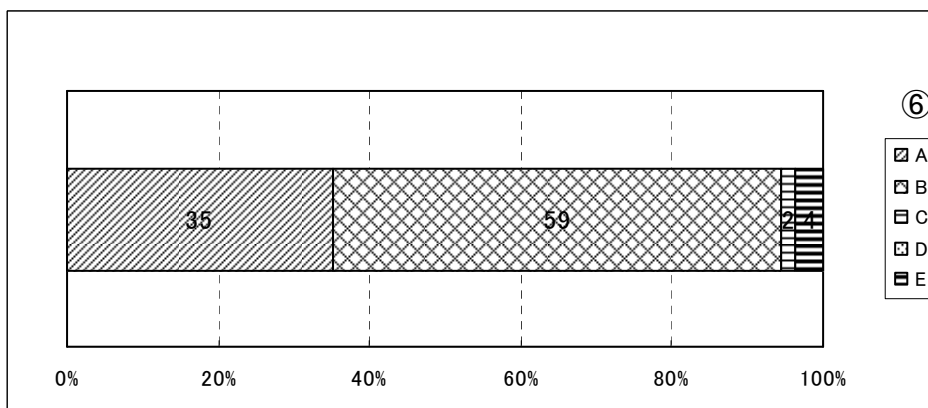


A	47
B	49
C	0
D	0
E	4

(%)

現在は、全学年において「スピーチタイム」に取り組んでいます。「スピーチタイム」では、スピーチ者（発表する児童）を立て、基本的な話し方や話し合いの進め方を学びます。「スピーチタイム」を通して、人前でスピーチする力を伸ばしたいと考えています。小学校においては各学年の発達段階に応じた取組がなされ、この取組は小中連携の一つとして南波多中学校でも取り組まれています。今後も子どもたちのコミュニケーション能力の向上のために、継続していきたいと考えています。

**6 学校は、道徳やこころの広場の時間を活用し、命の大切さや思いやりに関する指導に力を入れている。**



A	35
B	59
C	2
D	0
E	4

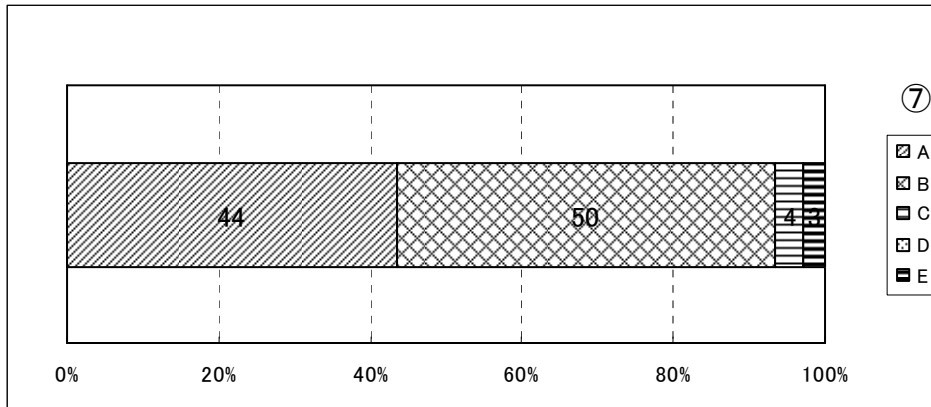
(%)

毎週1回の道徳の時間はもちろんのこと、「こころの広場（全校道徳）」「月のこころ」等を通して、「命の大切さ」、「思いやり」など心に関する指導を行っています。もちろん、日常生活の中でも、心に目を向けた指導を行っています。児童の様子を見ていますと、下級生や友だちに優しく声をかける姿をよく見かけます。今後も、道徳の時間等で豊かな感性や心情を育み、日常の生活指導を通して望ましい行動を指導することを継続していきたいと考えます。

2月1日（水）は、「ふれあい道徳参観デー」並びに「講演会」を計画しています。ぜひ参観いただき、児童と共に心を見つめてください。



**7 学校は、中学校や育友会と連携し、「あいさつ・返事、日本一」運動を推進している。**



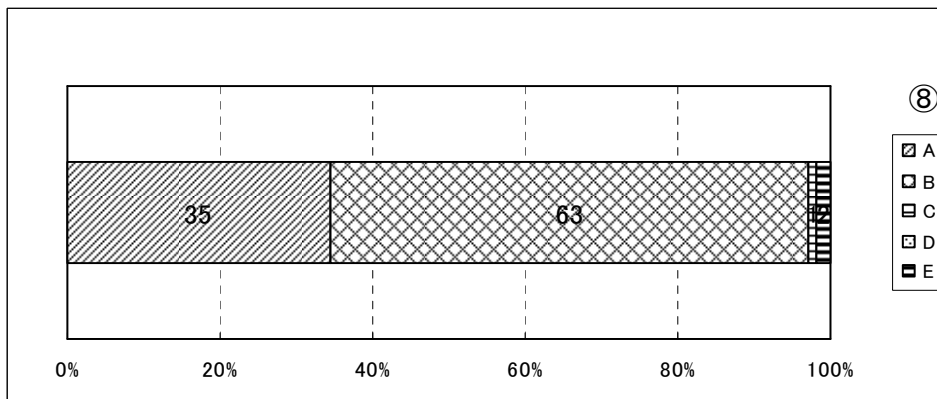
A	44
B	50
C	4
D	0
E	3

(%)

朝のあいさつ運動は、育友会の取組として長年にわたり続けられています。毎朝交代で参加していただいている保護者の皆様に深く感謝申し上げます。本校職員も、校長は毎日、他職員は1日おきに交代で参加しています。昨年度、「たいへんそう思う」と回答いただいた方が51%であるのに対し、今年度は7%ダウンの44%でした。「どうしても、その日は参加できない。」ということでしたら、前後の方と交代したり、日を改めたりしていただいで結構です。朝の忙しい時間帯ではありますが、今後も大人が範を示し挨拶運動へ参加いただきますようお願いいたします。

子どもたちの反応は、遠くからでも、大きく元気な声で「お早うございます！」と挨拶できる子やニコニコ笑顔でさわやかに「おはようございます。」と挨拶できる子がほとんどですが、中には朝から元気のない子もいます。朝の元気でさわやかな挨拶には、早寝・早起き・朝ご飯が不可欠です。ご家庭での協力もよろしくお願ひします。

**8 学校は、相撲・水泳・持久走等の校内体育行事に対し、児童が積極的に参加できるように行事内容の工夫を行うなど、体制づくりに努めている。**



A	35
B	63
C	1
D	0
E	2

(%)

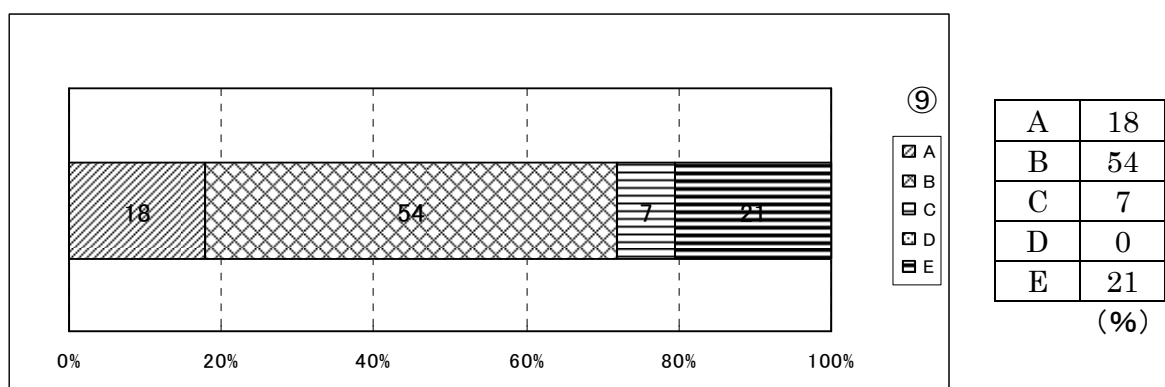
昨年度より「たいへんそう思う」「そう思う」が6%アップしています。児童に様々な体験をさせることで、個々の持つ可能性を引き出したり、伸ばしたりできればと考え、校内体育的行事を行ったり、様々な校外行事にも参加したりしています。ただ、参加するためにはそれなりの労力と時間を要します。

本校のように職員数が少ない学校では、全ての校外行事やイベントに参加することは、少々無理があります。そこで、子どもたちの活躍の場となり、子どもたちにとって有益で、成長の糧となるものを精選し、取り組みたいと考えています。

今後も、体育の学習はもちろんのこと、校内体育行事を充実し、子どもたちの基礎体力や運動能力を高めていきたいと考えています。

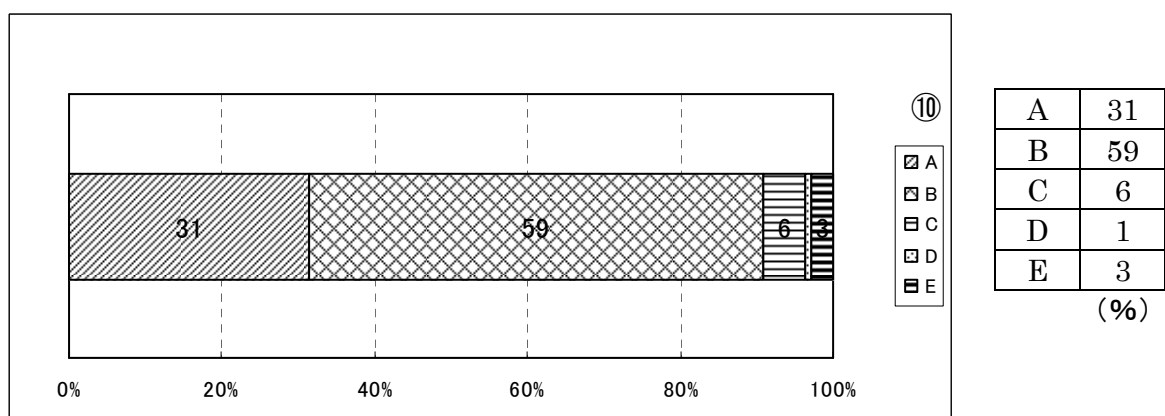


**9 学校は、児童の発達段階に応じた性教育を実施すると共に、児童の保健衛生面の意識や実践力を高めるために効果的な指導を行っている。**

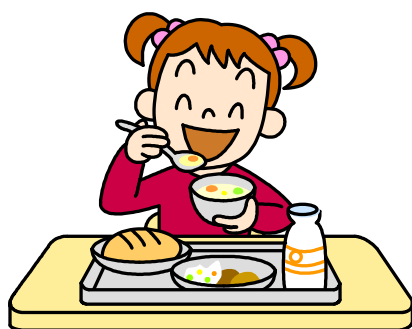


性教育に関しては、各学年の発達段階に応じた年間計画を元に学級指導、保健指導等で実施しています。専門的な知識を持つ養護教諭との TT（ティームティーチング）で授業を行うこともあります。年間計画の内容や指導の様子をお知らせすることが少ないために、21%も「分からない」という回答がありました。今後は、保健便りや学級通信等でお知らせしていきたいと思います。

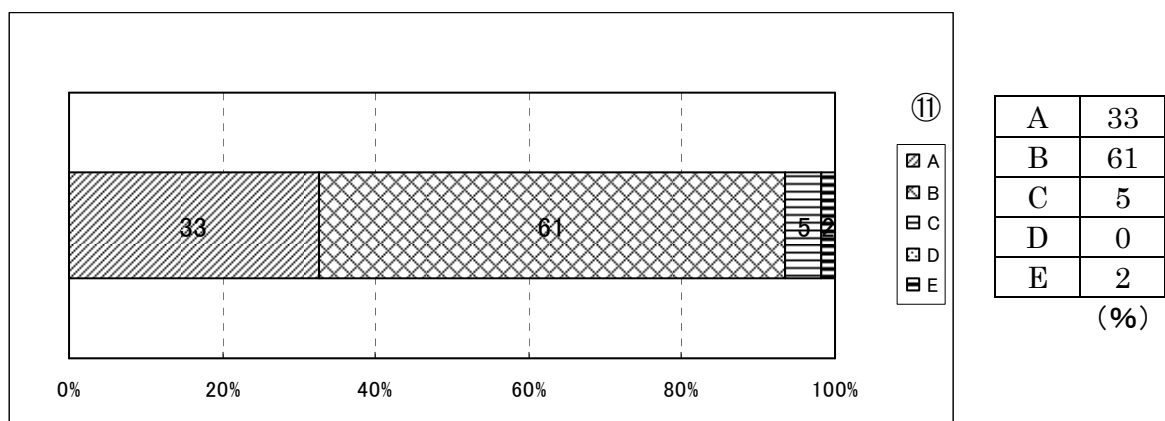
**10 学校は、「早寝・減テレビ減ゲーム」運動の意図やその成果や課題（達成率等）について、保護者に知らせると共に、家読の推進に努めるよう保護者に知らせている。**



昨年度より、「たいへんそう思う」「そう思う」が6%ダウンしています。「早寝・減テレビ減ゲーム」カレンダーは、現在も続いています。この取組は、全国的な課題ともなっている児童の基本的な生活習慣の定着のために、4年前から育友会を主体として取り組みがスタートしたものです。毎日の自己チェック、毎月の保護者がコメントを書くのは地道な作業ですが、その成果として、自分の就寝時刻を確かめ、テレビやゲームの時間を減らし、読書や家庭学習、手伝いなどの時間に充てている子は増えてきています。このような取組に真面目に取り組むのが、南波多小学校の児童のすばらしいところです。真面目に取り組んでいる子は、成績も向上し、情緒面でも落ち着いています。ややマンネリ化している感じもありますので、再度、この取組の意義を考えていただければと思います。

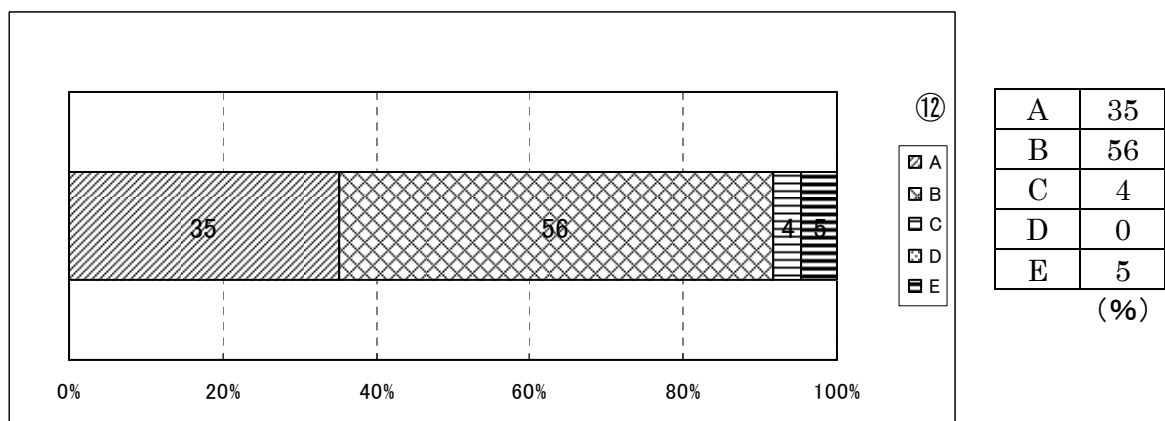


**11 学校は、児童の読書活動の充実を図り、家読についても育友会と協力しながら推進に努めるよう保護者に知らせている。**



伊万里市では、読書活動の充実の一つとして「家読（うちどく）」を推奨しています。「家読」とは、家族で本に親しむ時間を共有することで、親子の会話を促すというものです。以前から南波多町は読書に親しむ町として有名です。育友会の母親委員会では今年から重点的な取り組みとして、家読のすすめをスタートしました。子どもの豊かな心の育成、家族の絆を深めるためにも、「家読」についての理解を深め、その取組を広げていきたいと思えます。

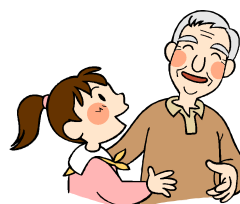
**12 学校は、児童のより良い学級にするための意識や実践力を高めるために、意図的に児童の出番や役割を作り、自主的に活動する機会を保証している。**



本校では、特別活動においても「開発的生徒指導」の考え方を取り入れています。子どもたちの自主性を伸ばし、子どもたちの持つ良さを伸ばしていく生徒指導のあり方が「開発的生徒指導」と呼ばれるものです。学校行事や委員会活動、児童会活動など、あるいは学級活動や係活動、掃除や給食などの当番活動などにおいて、意図的に子どもたちの役割・出番を作っています。そして、子どもたちが活躍したことや努力の過程を認め、励ますことで、次の活動への意欲や自尊感情を育てています。

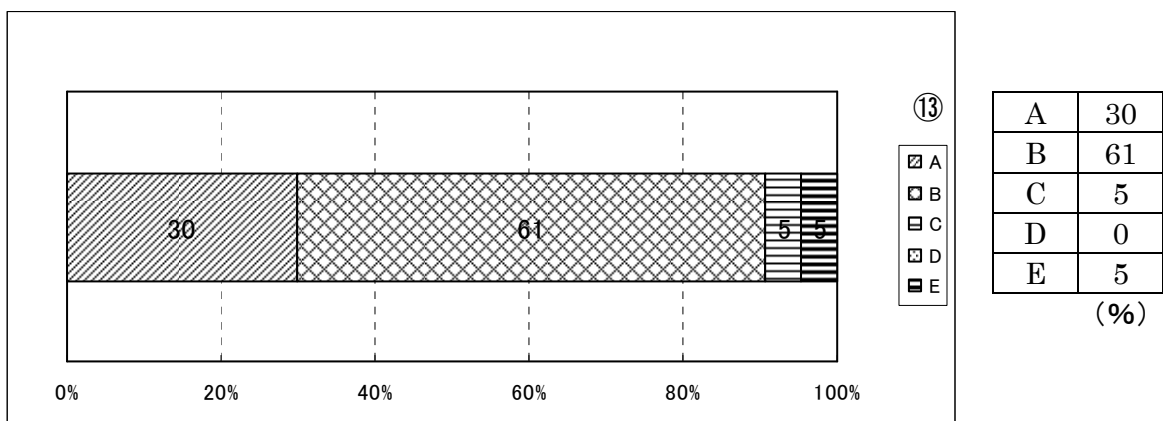
この考え方を軸にしていくことで、より良い学校・学級づくりへとつながっていくと考えます。

今後は、職員の研修を深め、前述のような取組を特別活動だけでなく、様々な教育活動に取り入れ、より良い集団づくりを目指していきます。



### Ⅲ【その他の取組】について

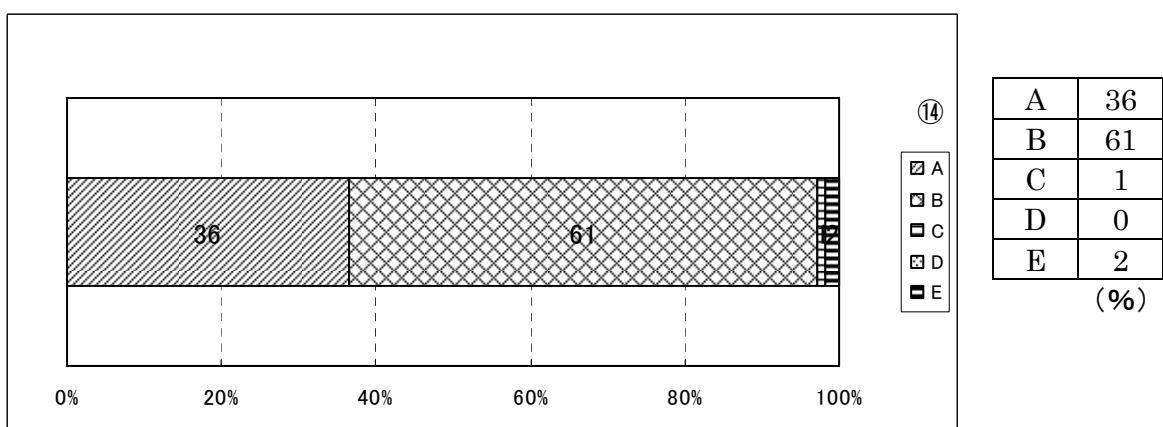
#### 13 学校は、児童に基本的な生活習慣や学習習慣が身に付くように指導を徹底している。



学校で行っている「基本的な生活習慣」に関する指導は、『挨拶』『返事』『言葉遣い』『身の回りの整理整頓』『公共施設や用具の使い方』等です。「学習習慣」については、『姿勢』『学習用具の使い方』『課題への取り組み方』『課題の解決の仕方』『家庭学習の進め方』等です。

全てが十分にできているとは言えませんが、これらは各学年の実態に応じて根気強く、くり返し、くり返し指導して習慣化するものだと考えます。ご家庭と協力しながら、今後も継続して指導していきたいと考えています。

#### 14 学校は、地域の人材や環境を活用した学習を積極的に取り入れている。



南波多小学校は、「地域の学校」として町民の皆様から愛され、大切にされています。その期待に応えるため、学校も全職員一丸となって、学習指導、生徒指導、体育指導等、教育全般に取り組んでいるところです。

また、地域の産業や文化を学ぶために、「梨づくりの学習」や「稲作体験」、「野菜づくり体験」「むかし遊び体験」などの学習を取り入れ、地域の様々な方々にご支援いただきながら学習に取り組んでいます。

平成20年度から文部科学省の指定を受けた「学校地域支援本部事業」は昨年度で終わりましたが、今年度から更なる家庭教育力の向上と学校と地域のつながりを深めるために「家庭・学校・地域連携支援体制づくり推進事業」に取り組んでいます。「地域と学校をつなぐ実行委員会」顧問の岩永孝雄様や学校支援コーディネーターの前田正光様、小松良子様のご支援は大変ありがたいものです。今後も、「地域の学校」として、「地域に愛される学校」「地域の特色を活かした教育活動」等を重要な教育活動として位置づけていきたいと思ひます。



※コメントから（14名の方からコメントをいただきました。原文のまま掲載しています。）

① 自分の子ども（1年生）が「スピーチタイム」でどういことを話しているか知りたいです。

※学校では、保護者の方々にどんどん学校に来ていただきたいと考えています。機会あるごとに学校に来ていただき子どもたちの姿や教育内容を見ていただきたいと考えています。子どもさんが「スピーチタイム」で発表する姿を見てみたいということであれば、遠慮なく担任に相談して、参観いただいて結構だと思います。

② 小中連携に小中の先生方が一丸となって取り組んでいらっしゃると思う。中1ギャップに対する親の不安も他の中学校に比べると少ないと思う。小中連携が今後も推進されていって欲しいと思います。

※小中連携は南波多小・中学校の特色でもあります。研究を始めて6年目を迎え、その成果も中1ギャップの解消や生徒指導の充実、学力向上等にみられます。今後、保護者の方々の貴重なご意見やご感想も参考に研究を深めていきたいと考えていますので、その節はよろしくお願いたします。

③ あいさつ日本一の看板が掲げてありますが、その実践が家庭でもできているのかと疑問に思いました。学校では大きな声であいさつできても、家ではどうなのかな……。子どもたちだけでなく、私たち保護者もお互いに気をつけなければいけないことだと子どもを通して感じたところです。

- 小学生のあいさつが悪くなっているような気がしたのは私だけでしょうか。こちらから声をかけないとあいさつしない子が多くなったように思いました。

※毎朝のあいさつ当番、ほんとうにありがとうございます。ご意見のとおり、あいさつについては個人差があります。また、あいさつは学校、家庭の別なく、どこでもきちんとできることを学校でも願っています。そのためには、ご意見のとおりご家庭の協力が不可欠です。学校と家庭が手をつなぎ、大人も子どもも「あいさつ日本一」を目指していきたいものです。

④ 祖父母参観日みたいなものをつくってみたいと思う。

※子どもたちの生き生きと学ぶ姿をおいちゃんやおばあちゃんにも是非参観いただきたいと考えています。祖父母参観日のみと区別するよりは、通常の授業参観や、保護者・地域の方など全ての方を対象としたフリー参観に遠慮なく参観いただければ、その機会も多くなると思います。学校から出す案内の文書に、祖父母の方々の参観を促す一文加えたいと思います。

⑤ 希望として外国語の授業を早めに少しずつ取り入れてもらえたらと考えています。

※現在、小学校における外国語活動は、5・6年生に位置付けられています。時間数としては、週1時間程度です。学習指導要領において、1年生から4年生までについては、外国語のみを学習する時間を確保することはできません。しかし、3年生以上の総合的な学習の時間などでは国際理解教育に取り組んだり、社会科などで外国のことを学んだりすることはできます。今後、5・6年生において、外国語活動の時間の充実を図り、ALTを活用して本物の外国語にふれながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成に力を入れていきたいと思ひます。

⑥ 学校の校門下の駐車場（中学校）の出入り口のところに、横断歩道があると渡りやすいと思う。

※子どもたちの安全は最優先課題だと思います。この件につきましては、町の交通対策協議会に相談してみたいと思ひます。

⑦ 保護者が参加する学校行事が多すぎるように思ひ。

- 今年度は、午前中に授業参観を組まれることが何度かありましたが、午前中は時間のやりくりが難しい面もありました。

※学校では、子どもたちが生き生きと活動する場面を、できるだけ多くの保護者の方々に見ていただきたいと考えています。また、授業参観をはじめ、毎回たくさんの保護者の方々に参加していただき感謝しています。しかし、「仕事の都合で、毎回は難しい。」というご意見も耳にします。一方、「機会が多いか

ら自分の都合に合わせて参観できる。」という意見もいただいています。毎年、年度末には一年間の教育反省を行います。ご意見を参考にして、中学校との調整も図りながら見直していきたいと思います。

- ⑧ 今後、入学してくる児童数が20名前後になるそうですね。学校内の、いろいろなグループ編成や育友会役員数など、時期に応じて編成し直しの作業が入ってくるでしょうね。

※中学校を含め、児童生徒数の減少は避けて通ることのできない大きな課題です。そのことに伴い、学校内の様々なグループなども見直しが必要になってくると思います。また、育友会の在り方も見直す時期が来ると考えられます。今後、児童生徒数の推移を見ながら、様々なご意見をいただき、見直しを進めていきたいと思っています。

- ⑨ 新聞紙上で問題になっている「虐待・いじめ」について、家庭でも日頃気をつけて態度の変化、まわりに対してのシグナルなどを発していないかと気をつけているつもりですが、不思議なことにそういう子に限って家庭での何もなかったかのような振る舞いをしているようです。学校・家庭全体で大問題にならないうちに解決していきたいと思いますので、どうかよろしくお願いします。

※学校では、「いじめ」は人権侵害であり、どんな理由であろうとも人として許されない行為であることを教えています。道徳の時間で思いやりなどの心情を養いながら、相手の気持ちを推し量ることができるようになってほしいと願っています。ご意見のとおり、子どもは必ずシグナルを発します。家庭で気づかれたら、遠慮なく学校へお知らせください。また、学校で気になることがありましたらご家庭にも連絡させていただきます。とにかく、いじめは人として絶対に許されません。学校と家庭が手をつないでいじめ撲滅にむけて取り組んでいきたいと思っています。

- ⑩ 学校と地域が一体となって児童の健全育成推進を図っていただいております、ありがたいです。今後も引き続きご指導いただけると幸いです。

※ありがたいご意見です。学校と地域が一体となって子どもたちの教育にあたる環境は、この地域の財産であると考えています。学校では、その地域の方々の思いをしっかり受け止め、子どもたちの教育にあたらなければいけないと考えています。これからも、様々な場面でご支援いただくことになるかと思いますが、これまで同様、南波多の子どもたちのためによりしくお願いいたします。

- ⑪ 高学年になるにつれ、元気さより恥ずかしさが先に出てくる時期だと思っています。だから、更に親の声かけが必要になってくると思うので、たくさんコミュニケーションを取りたいと思います。学校の出来事をよく話してくれますが、とっても楽しそうにしています。

※高学年になれば、思春期に入り、私たちもそうであったように親と話をしなくなったり、不機嫌そうな態度をとったりするものです。しかし、子どもが話さないから、親も話さないというのではなく、積極的にコミュニケーションを取ろうとすることで「親は自分のことを心配してくれている。」「自分のことを大切に思ってくれている。」というメッセージを発信することが大切だと思います。その加減が難しいですね。子育てで悩まれることも多いかと思いますが、相談しやすい職員がいれば、いつでもご相談ください。一緒に考えていきたいと思っています。中学校へ進学してからでも構いません。いつでもお待ちしております。

- ⑫ 学年によって配付物や学校からの連絡に差が少しあるようなので気をつけて欲しい。

※学校では、保護者の方々に向けて、様々な配付物や、学級通信等を通じて様々な連絡を行っております。学校行事等の全校共通したものは、「学校だより」や長子宛の文書等で連絡しております。各学年の通信で、若干の早い遅いはあるかもしれませんが、そのことで、保護者の方々に不都合が生じているようであれば、全職員で共通理解する必要があると思います。

# 「学校評価」児童アンケート集計結果

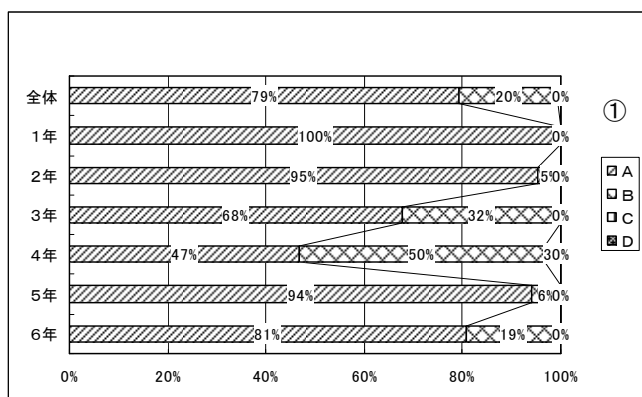
◇ 回答率100% (169名/169名)

1年生=23名・2年生=21名、3年生=28名、4年生=32名  
5年生=34名、6年生=31名

「A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない  
D：まったくあてはまらない」の4段階で、自己評価をしてもらいました。



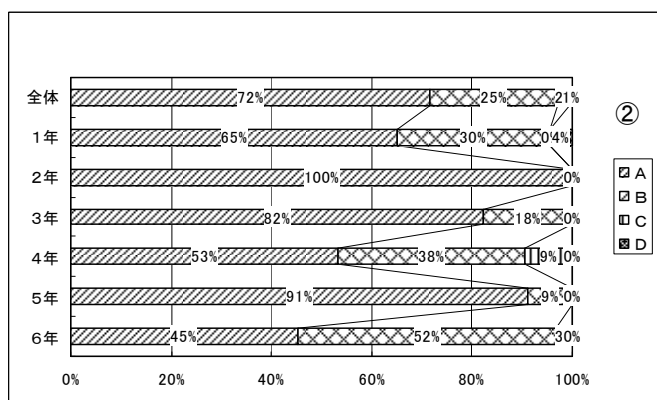
## 1 南小っ子の合言葉を知っていますか。



南小っ子の合言葉は、放送委員会が毎朝放送してくれていることもあり、79%の児童が「よくあてはまる」と回答しています。昨年度と比べると9%ダウンしています。

継続は力なりです。合言葉を覚えることで、南小っ子としての自覚というか、プライドのような気持ちも生まれます。今後も、この取組を継続し、来年度は100%を目指したいと思います。

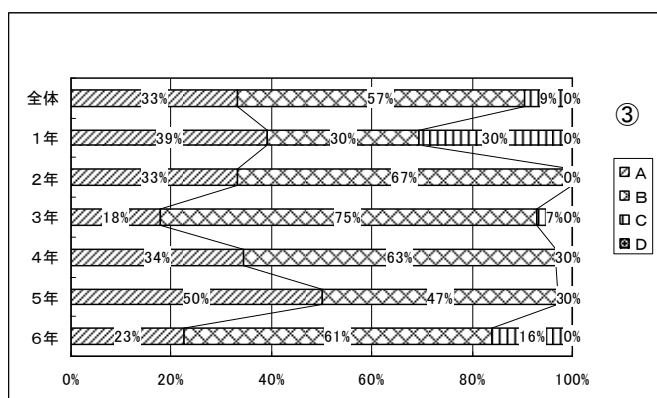
## 2 あなたは、小中合同大運動会やふれあいコンサート、小中ボランティア活動に楽しく参加し、すすんで活動できていますか。



学年差はありますが、全体では97%の児童が、小中合同の行事を「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と感じています。この取組は、南波多小・中学校の特色でもあります。

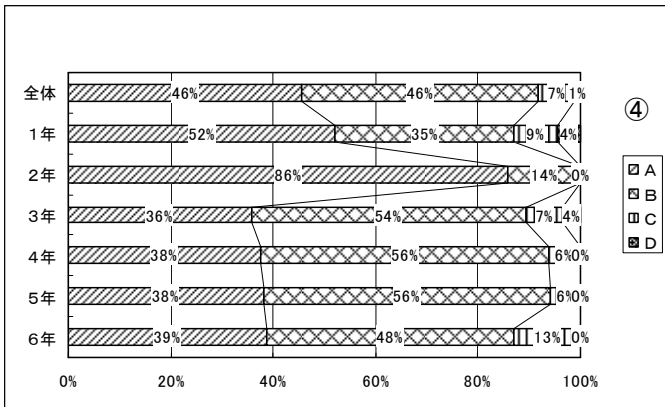
今後は、各活動を自分たちの主体的な活動として、企画させたり、運営させたりすることで意図的に児童の出番を保障していきたいと考えています。

## 3 あなたは、安全な登下校、けがをしない遊び、規則正しい生活（早寝早起きなど）に気を付けた生活できていますか。



集団登校や挨拶運動は南波多小学校の伝統となっています。上級生が下級生のお世話をしながらの登校は微笑ましいものです。しかし、集合時刻にそろわない、登校中に班がくずれてしまう、雨の日の車での送り等の課題もあります。そのせいか、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した児童が昨年度より7%ダウンしています。今一度、学校でも、家庭でも意識して早寝早起きについて指導する必要があると思います。

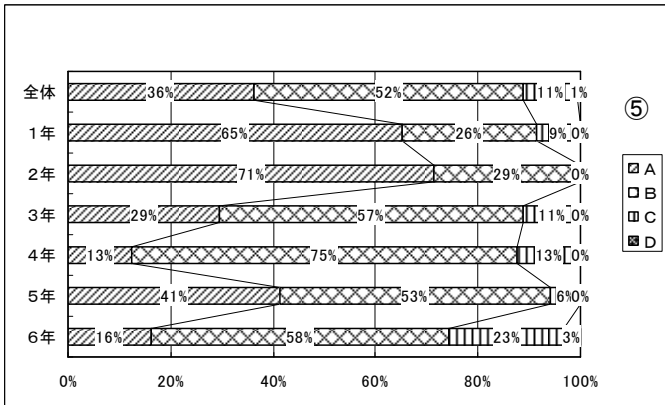
**4 あなたは、学校やお家での学習に、自分からすすんでいっしょうけんめいに取り組んでいますか。**



家庭での学習習慣の定着は、小学校だけではなく中学校においても大きな課題となっています。

学年によっては発達段階に応じて宿題以外に自主学習を奨励しています。自分で課題を見つけ学習する習慣は、高学年になるほど大切になりますし、中学校へもつながります。よい例等を示しながら、家庭学習の内容の充実に努めていきたいと思えます。

**5 あなたは、人の話をよく聞き、人前でも自分の考えをしっかりと話せていますか。**

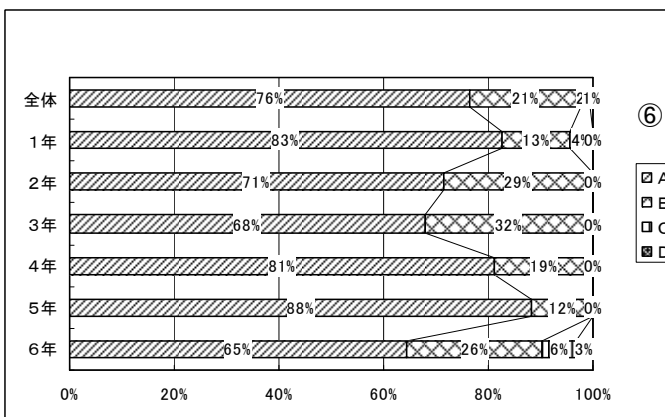


学校では、「発表している友だちの方におへそから向いて！」とか「友だちの目を見て！」という指導を重ねています。当然のことですが、人の話を集中して聞くことができる児童は、授業の理解も進み、自分の考えや思いもしっかり伝えることができているようです。

「聞く」ことは学習の基本中の基本です。何事も、しっかり聞くことから始まります。



**6 あなたは、命や思いやりの大切さについて、しっかり考えることができますか。**



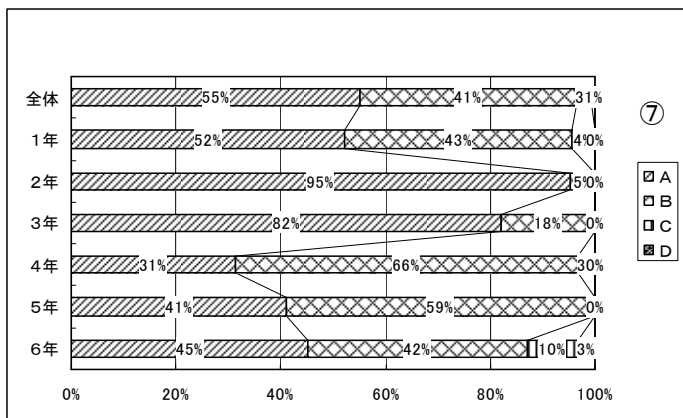
伊万里市には「心の教育3点セット」と呼ばれる「伊万里っ子しぐさカレンダー」「伊万里童謡歌集」「いのちの教育指導資料」があります。これらを利用して、「心の教育」に力を入れています。

また、本校独自の「こころの広場」や「月のこころ」の取組もあります。

今後も、特に「いのち」や「思いやり」についてじっくり考える機会を大切にしていきたいと思えます。



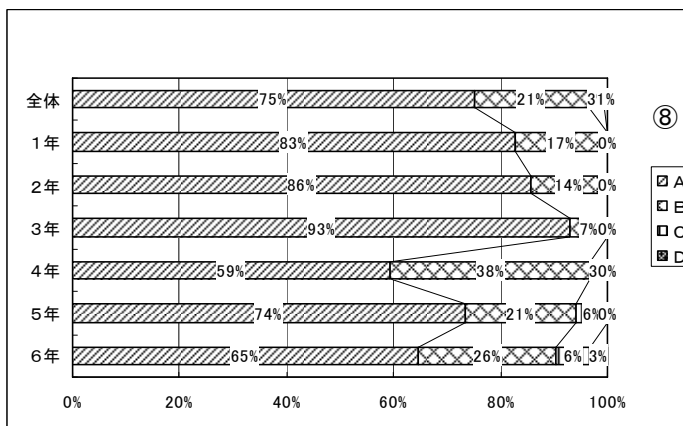
**7 あなたは、自分からすすんであいさつや返事ができていますか。**



全体の96%の児童が、挨拶や返事を自分から進んでできていると感じています。

町内の方からも「あいさつの気持ちよか」という感想をいただきます。しかし、個人差があるのも事実です。あいさつは、人と人のコミュニケーションの始まりです。今後も、南波多小学校のよき伝統として大切にしていきたいと思います。

**8 あなたは、相撲・水泳・持久走などの体育行事にすすんで参加していますか。**

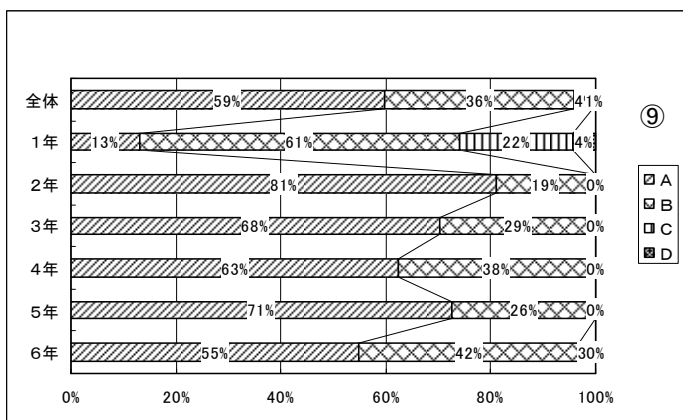


全体の96%の児童が体育行事に積極的に参加していると回答しています。子どもたちの様子を見ていますと、昼休みに運動場で汗びっしょりになって遊ぶ子、外遊びを好まない子と個人差があるようです。

今後も、体育行事を積極的に行い、身体を動かす場面を提供し、体力の向上を目指していきたいと思います。



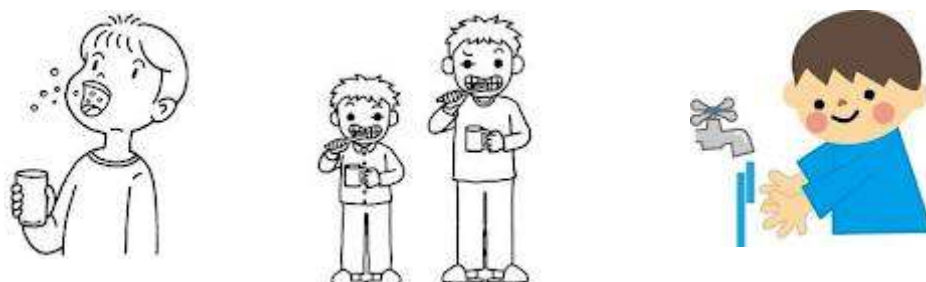
**9 あなたは、手洗いや歯みがき、うがいなどをしっかりとできていますか。**



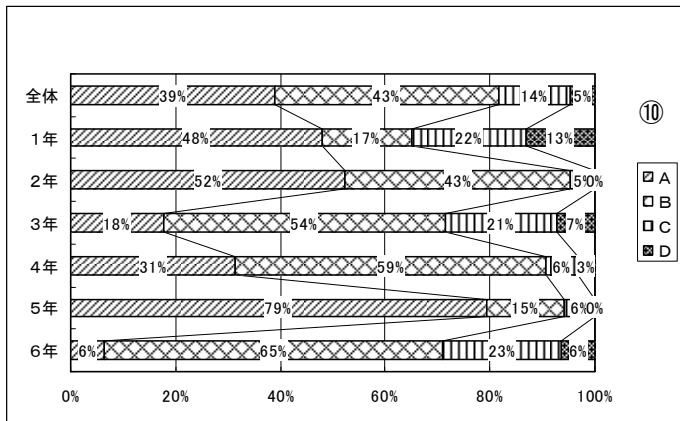
60%近くの児童が、手洗い・歯みがき・うがいを毎回できているようです。

寒い日でも、自分からすすんで、面倒がらずに、手洗いやうがい、歯みがきをしっかりとやるように指導しています。

ご家庭でも、起床後の洗顔など、水の冷たさや心の面倒くささに負けずに頑張るようご指導ください。学校と家庭が手をつないで、根気強く指導することが必要だと思っています。



**10 あなたは、「早寝・早起き、減テレビ減ゲーム」の目標を守ることができていますか。**

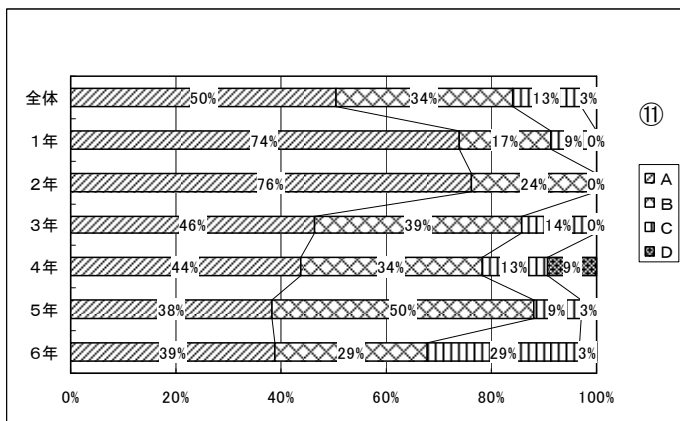


昨年度と比べると、「よく守れている」「守れている」と回答した児童が10%ダウンしています。その中で、5年生が「よく守れている」と回答している児童が79%と突出しています。

減テレビ減ゲームについては、各家庭での約束が必要です。今一度、約束事の確認をお願いします。



**11 あなたは、学校や家庭で進んで本を読んでいますか。**

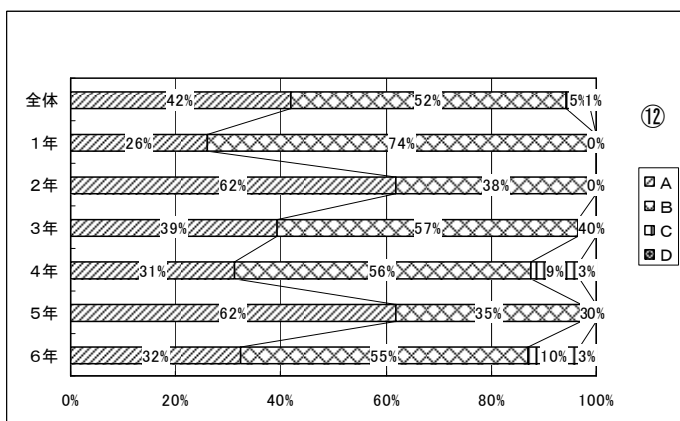


1・2年生が「よく読んでいる」と回答している児童が多いです。

読書は「心の栄養」と言われるように、子どもたちの豊かな感性や心情を育みます。時には、家族で本に親しむ時間をつくってみてはどうでしょうか。そのことが、親子のよりよい関係につながっていくと思います。



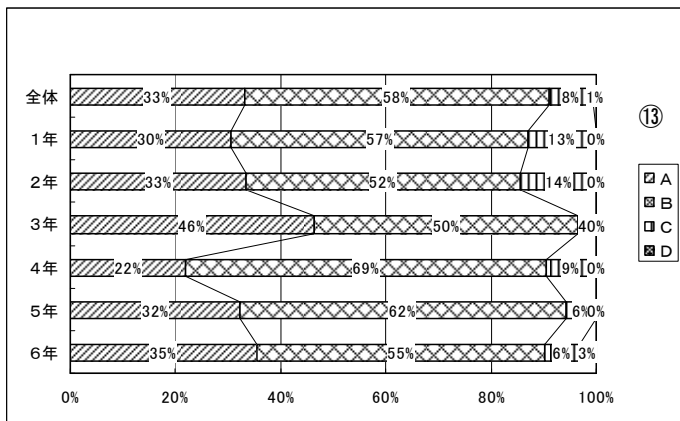
**12 あなたは、自分の出番や役割を理解し、より良い学級や学校にするために、自分からすすんでがんばることができていますか。**



「自分の出番や役割」とは特別なことではありません。給食や日直などの当番活動、清掃活動、クラスやグループでの学習や生活での役割分担などです。学年が進むにつれ、出番や役割が大きくなってきます。集団で生活するためには、一人一人が何らかの役割を責任をもって果たすことが大切です。児童のよくできたことやがんばりを認め、褒め、次の活動への意欲・自主性へとつなげていきます。



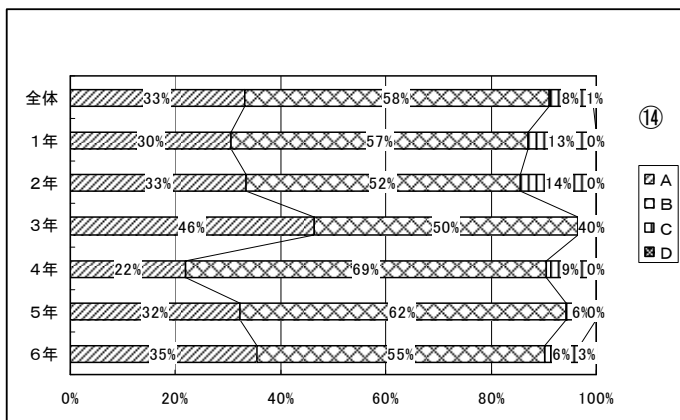
**13 あなたは、「時間を守る」「整理整頓をする」「話す人を見て聞く」「背筋を伸ばして座る」「宿題をする」の5つを守っていますか。**



5つとも「よく守れている」「守っている」と答えた児童は91%で昨年度より5%アップしています。5つは特別なことではありません。意識して取り組めば、いずれ習慣化するものです。

このような学習習慣や生活習慣を定着させることが、学力の向上にもつながります。「当たり前のことを当たり前！」意外と難しいものですが、根気強く、くり返し指導していく中で習慣化させていきたいと思っています。

**14 あなたは、生活科や総合的な学習の時間などに、地域の人から教えてもらいながら、楽しく活動できていますか。**



南波多小学校は、地域の方々からボランティアで「梨づくりの学習」や「米作り体験」、「地域伝統文化学習」、「ふるさと昔話」「クラブ活動支援」等々、様々な支援をいただいています。

ふるさとを愛し、守っていらっしゃる方々との交流を通し、郷土愛や人としての生き方、考え方を学ぶことができるのは児童にとって幸せなことです。その環境が、この町にはあります。今後も地域に根付いた学校、地域に愛される学校であり続けたいと考えています。

